

茨城県立こども病院を受診された方へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	TP53 バリエントに関連して発症する血液悪性疾患に関する実態調査
当院の研究責任者	加藤啓輔
他研究機関および各施設の研究責任者	東京大学附属病院小児科、加藤元博、中野嘉子
本研究の目的	本研究は、「小児、若年成人に発症したTP53陽性の血液悪性疾患におけるリー・フラウメニ症候群の頻度」および「リー・フラウメニ症候群の患者に発症する血液悪性疾患に対する臨床像、治療の実態や予後」などを明らかにすることを目的とします。
該当期間・対象者	血液悪性疾患を発症したリー・フラウメニ症候群の患者さんあるいはTP53 遺伝子の胚細胞性病的バリエントが確認された方を対象とします。
研究の方法	対象となった方の、診断、治療、治療終了後の定期受診の様子を電子カルテから集めて、今後の診療に役に立つよう疾患の特徴を明らかにします。
他機関への情報提供	東京大学附属病院小児科の研究者が情報をまとめます。
個人情報の取り扱い	個人を特定する情報は収集しません。診断名、診断日、簡単な治療経過、TP53 遺伝子解析結果などの情報を集めます。
利益相反	今回の研究と関係には利益相反はありません。
問い合わせ先	茨城県立こども病院 小児血液腫瘍科加藤啓輔
備考	